

# AERA Kids with

2021 春号  
定価998円

もっとラクになれる!  
繊細っ子相談室

(個性を伸ばす!)



# ほめ方 叱り方



声かけて思考力アップ!



Cover Interview

内田也哉子さん

3年生からの  
理科 社会

自立力を高める  
寮のある学校



Book  
in  
Book



永久保存版の  
全81冊!

連載中最年少ゲストの登場です。高校生のときにイベント会社を起業した小幡さんは現在26歳。自身の経験をもとに、不登校をテーマにしたイベントや講演のほか、現在進行形でさまざまな分野に活動の場を広げています。

連載

11

## 花まる学習会代表 高濱正伸の

# 花まる TALK

ゲスト

小幡和輝さん



ゲムトレ代表取締役社長  
#不登校は不幸じゃない 発起人  
小幡和輝(おばた かづき)さん

1994年和歌山県生まれ。小学生から約10年間の不登校を経験後、高校3年で起業し、高校生社長となる。以降、SNSのプロモーション企画や地域活性イベントなどを行い、世界経済フォーラムが選ぶ世界の若手リーダー「Global Shapers」に認定される。2019年には日本初、ゲームのオンライン家庭教師「ゲムトレ」を立ち上げた。オフィシャルブログ <https://www.obatakazuki.com/>

TALK

## 今の時代は学校だけが居場所じゃない! 選択肢はほかにもある



不登校は甘くないけど

居場所があればこわくない

高濱 こんな日が来るなんて(笑)。初めて会ったのは、若手起業家を応援するコミュニティーだったよね。

小幡 そうですね。みんながそれぞれに発言するなか、僕は「自分がそだつたので、不登校をテーマに何かやりたいと思っていました」と言つたら、先生が「だったら、まずは自分の経験を本に書いてみたら?」って。あのあとすぐに本を書いて、自費出版しました。

高濱 あれは何年前?

小幡 2017年です。お金はクラウドファンディングで集めました。応援してくれた人には本を2冊ずつ、1冊は当人に、もう1冊は母校に寄贈してくださいと配つたんです。

高濱 その本を僕にもくれたんだよね。カバーに不登校時代と高校生社長になつたころのビフォーアフターの顔写真が並んでいて、ほぼ別人(笑)。あれはすごい。(次のページ下に写真あります!)

## 10年間の不登校より 不登校前の3カ月間のほうが

(小幡)

高濱 不登校は、子育て中の親なら誰もが他人事ではない、不安を覚えるテーマだと思う。まずは不登校になつた経緯を話してください。

高濱 不登校は、子育て中の親なら誰もが他人事ではない、不安を覚えるテーマだと思う。まずは不登校になつた経緯を話してください。

小幡 その後、次第にネット以外のメディアにもとりあげられるようになり、本も何冊か出して今に至ります(笑)。

高濱 あのとき、この子は「ぐるな」と思つたんだ。ボルダリングじゃないけど、絶対自分でとつかりをちゃんと見つけて自分の力で登つてくるなって。

小幡 ありがとうございます。先生と対談できるなんてうれしいです。ぜひ小学生の親御さんたちに伝えたいんです。不行かないで、自分の力で登つてくるなって。

高濱 大人はまず理由を聞いちゃうよね。

小幡 なぜ?という質問は子どもには酷です。たとえば僕は給食の牛乳が大嫌いだったけど、それはわがままだと許されない。アレルギーの子は許されるのに。

高濱 でも、じゃあ牛乳を飲まなくていいなら学校に行くのかといえば、そういうことでは全然ない。言語化できないんです。

小幡 とにかく集団生活というものに違和感しかなかったんです。幼稚園のおゆうぎ会なんて大嫌いだったし、決められた時間に決められたことしかしてはいけないことに納得がいかなかつた。小学校ではそうした縛りがさらにきつくなつたので、もうやだつてなりました。

高濱 自分の好き嫌いとは関係のないルールで動かなくてはいけないからね。たいていの子どもは、ほかのみんなもやつてるし、仕方ないかと受け入れていくのだけれど、それができなかつた。

小幡 学校という空間がいやすぎたんです。親にも行きたくない、休みたいってずっと言い続けたけど、聞き入れてもらえないで。もう毎日バトルですよ。どうして学校に行きたくないんだって聞かれてもうまく話せないし。

高濱 大人はまず理由を聞いちゃうよね。

小幡 なぜ?という質問は子どもには酷です。たとえば僕は給食の牛乳が大嫌いだったけど、それはわがままだと許されない。アレルギーの子は許されるのに。

高濱 でも、じゃあ牛乳を飲まなくていいなら学校に行くのかといえば、そういうことでは全然ない。言語化できないんです。

高濱 そうなると、学校にも家にも居場所がなくなつてしまつよね。

小幡 そうなんですね。僕は小2になつて親とバトルをくりかえしながら渋々学校に行つていた3ヶ月間が一番しんどかったです。あれ以上続いていたら、自分はこれまでいたかもしれない。ところがちようどそのころ、クラスのガキ大将に殴られるというわかりやすい理由ができる学校を休めるようになつた(笑)。ある意味ラッキーでした。その後、僕の不登校生活は10年ほど続くんですが、すごくラクになつたし、むしろ楽しかつた。

高濱 そこなんだよ。君がラッキーだったのは、殴られたからではなく、学校に行かなくても学校以上に充実した生活を送ることができたからなんだよね。

小幡 確かに。近所に5歳上のいっこがいて、その子も同じころ不登校になつていたので、いつも一緒につるんでいました。2人ともゲームとマンガが好きでとにかく毎日ゲーム三昧。ゲーム「信長の野望」で歴史の面白さに目覚め、カードゲーム「戯戯王」に夢中になつてゲームショップに通ううちに友だちもできました。そしてゲーム大会を手伝つようになりました。



